

令和7年度 学校評価アンケート（教職員） 集計結果

本校教職員による学校評価アンケートを実施し、以下のように点数化して、その平均値を集計結果として示します。

よくできた…4 できた…3 あまりできなかった…2 できなかった…1

回答件数 18件

分掌	実践項目	評価
総務管理部	1 校運や職員会議で各学年・部署と調整を行い、行事内容等を精選する	2.9
	2 各行事担当者と事前協議を行い、円滑に行事が実施できるようにサポートする	2.7
	3 定期的にホームページの更新と学校新聞(dis新聞)の発行を行う	3.1
	4 学校評議員・PTA・同窓会等との連携を密にし、サポート体制の構築を図る	3.1
	5 災害や有事の際に適切に行動できるよう危機管理マニュアルを作成し、防災避難訓練や救急講習などを実施し、教職員の資質向上を図る	3.1
	6 生徒の自主性・社会性を向上させるために、定期的に校内大掃除を実施する	3.1
	7 年間3回の人権・道徳LHRを実施し、人権意識をもった豊かな心を育む	2.8
	8 人権推進委員会を年3回実施し、適宜実施内容の見直し、改善を図る	2.6
教務部	1 公開授業を全教員が年2回実施する。自教科1回、他教科1回の授業観察を全教員が実施する	3.5
	2 授業評価アンケートを年2回実施する	3.7
	3 生徒の多様な興味・関心や進路希望に応じた、多様な選択科目群を備える	3.2
	4 新指導要領に対応した教育課程を編成する	3.3
	5 各学期末に観点別評価を行う	3.6
	6 知識・技能だけでなく、それらを活用した思考力・判断力・表現力の育成や、主体的に学習に取り組む態度を育てるために、各教科に年間指導計画を作成させる	3.4
進路支援部	1 校内外を問わず年間を通して進路ガイダンスの充実をはかる*とともに、就職希望者に対しては企業応募前見学やインターンシップを実施、進学希望者に対してはオープンキャンパスの参加を促す	3.5
	2 模試のデータや進路希望調査、進路に関する資料等を有効に活用して面談を充実させる	3.2
	3 総合的な探究の時間やLHRにおいて、企業や学校研究を進めるとともに自己理解を深めさせる。	3.1
	4 朝の小テストを実施する他、普段の授業に加え、進学補習や就職補習を充実させて、合格する力を養う	3.3
生徒支援部	1 各種講演会などを通して、生徒の興味・関心を引き出し、自分の可能性にチャレンジする力を育てる	3.1
	2 学校生活意識調査を通して、悩みやいじめの実態を早期に発見し、迅速に対応する	3.1
	3 生徒指導の基本方針である三本柱（ダメなものはダメ、正しい言葉遣い、学校を美しく）を徹底する	2.9
	4 朝の通学指導を通して、交通ルールの遵守を徹底させ、安全な登下校を確保する	3.2
	5 部活動や生徒会活動を通して、協調し他者を思いやる豊かな心を育てる	2.8
	6 心のサポートシステム研究などを通して、自他の生命を尊重し、心の居場所となる学校づくりを目指す	2.9

第一学年	1	毎日の生活指導をととして基本的生活習慣を身につけさせる	3.2
	2	コミュニケーション能力を育成し、自律的で良好な人間関係を構築させる	3.3
	3	朝の小テストや読書をととして基礎学力の定着を図り、学習習慣を確立させる	3.4
	4	面談や進路HR、進路ガイダンスをととして、進路実現に向けた意識を持たせる	3.4
	5	電話連絡や面談、学年通信により保護者との連携を図り、相互の信頼を構築する	3.4
	6	学年行事を充実させ、意欲的に参加させることで、自己有用感や責任感を持たせる	3.3
第二学年	1	毎日の生活指導を通して身についた基本的生活習慣を維持させる	3.2
	2	コミュニケーション能力を育成し、自律的で良好な人間関係を維持、発展させる	3.1
	3	朝の小テストや読書、さらには進学、就職補習に意欲的に取り組ませる	3.5
	4	面談や進路HR、進路ガイダンスを通して進路実現に向けた意識を向上させる	3.5
	5	電話連絡や面談、学年通信により保護者との連携を図り、相互の信頼を維持、発展させる	3.5
	6	修学旅行に事前学習から意欲的に取り組ませ、学年やクラスでの役割を果たさせることで、自己有用感や責任感を持たせる	3.5
第三学年	1	週末課題や小テストを中心に英・国の基礎分野の学習を徹底させ、進路実現に向けた力をつけさせる	3.3
	2	進学者対象補習、就職者対象補習、各種模試、進路ガイダンスなどを実施する	3.6
	3	学校行事や部活動に積極的に参加することを通して、協調、協働、助け合いの精神を育み、コミュニケーション能力の向上を図る。	3.3
	4	学校生活意識調査などのアンケートを活用しながら生徒の理解に努め、様々な学校行事を通じて自己肯定感の向上を図る。	3.3
	5	二者面談と三者面談を実施し、学年通信や学級通信の発行を通じて相互の連携を図る	3.4
	6	面接指導（学年、PTA、ロータリークラブ）や地域とともに心を育てる会等を通じて、コミュニケーション能力、社会人としてのマナー等を身につける	3.2